

第三一期

二〇一八年四月一日

二〇一九年三月三十一日

事業報告書

株式会社クレスコ



トップメッセージ

株主のみなさまには日頃から格別のご支援をいただき、心よりお礼申し上げます。

当期の経営方針

クレスコグループは、事業機会を着実に取込み、さらなる飛躍を果たすため、2016年4月に5ヶ年のビジョン『CRESCO Ambition 2020』をスタートし、業績の達成、重点施策の具現化、企業価値の向上を目指しています。

CRESCO Ambition 2020

Lead the Digital Transformation

～『クレスコグループ』はデジタル変革をリードします。～

挑戦する企業集団

洗練された技術力と確かな品質

ひとりひとりが輝くクレスコ

当期は経営方針に『CRESCO Ambition 2020』に沿った経営「ビジネス品質と生産性の向上による確実な成長」「M&Aによるグループビジネス規模の拡大」を掲げて、事業を推進しました。

当期の経営環境

海外情勢に起因する景気の不透明感や為替や株式相場の動向、自然災害など、懸念事項は多々ありましたが、個人消費の回復や底堅いインバウンド需要、企業の収益性改善等が後押しし、経営環境は、回復基調が継続しています。また、企業の競争力と成長力を強化するための「第4次産業革命」「働き方改革」「労働力不足」に対する取組みは、生産性改善に寄与するソフトウェア開発、システム開発のさらなる需要を喚起しています。

クレスコグループは、アプリケーション開発技術、IT基盤システム構築技術、組み込み技術のコア技術に、人工知能(AI)、ロボティクス、IoT(Internet of Things:モノのインターネット)等の先端技術を加えた幅広い事業領域を持っており、優位性を発揮できる機会が到来しています。反面、エンジニア不足は受託開発事業において、業績拡大のボトルネックになっています。

決算のポイント

- ◆前年同期比、売上高5.7%増、営業利益3.7%増、経常利益4.8%増、純利益3.8%増の増収増益。
- ◆ソフトウェア開発事業：事業ポートフォリオの見直し、リソースのシフトを実施。不採算プロジェクトの再発防止および品質の強化に注力するも、上期の出遅れが影響。「金融」はメガバンクの大型案件剥落が影響し、前年対比では大きくマイナスになるも底打ち感あり。「公共サービス」は旅行業および人材サービス向けの案件が堅調に推移。「流通・その他」は2018年1月以降に実施した3件のM&Aによる連結効果が奏功。
- ◆組み込み型ソフトウェア開発事業：受注単価の見直しや生産性改善の取組み、ニアショアを含む開発体制の強化が奏功。「通信システム」はスマートフォン関連のプロジェクトが微増。現体制を維持。「カーエレクトロニクス」は主力のインフォテインメント系、表示系が堅調。「情報家電等・その他」はテレビ、カメラ、AIスピーカー等のデジタル情報家電のほか、子会社「シースリー」の制御系開発が堅調に推移。

当期の取組み

当期は、不採算案件の収束と極小化に向けた対応をはじめ、市場の変化に即した顧客ポートフォリオや事業体制の見直しを図るとともに、新規顧客の開拓、先端技術を取込んだ新規事業・サービスの開発に注力しました。また、全社的な生産性改善活動、開発リソースの確保、受注単価の引上げ、選別受注を積極的に実施して、業績の巻返しに取組み、グループ連携の強化や品質管理の再徹底を通じて、リソースに応じた適正な受注量の確保と顧客満足度の更なる向上に努めました。

その他、当期の取組み実績は、本書の「Topics」でご紹介していますので、ご覧ください。



代表取締役 会長
岩崎 俊雄

代表取締役 社長執行役員
根元 浩幸

来期の見通し

経済環境は、米中経済摩擦や英国の欧州連合(EU)離脱問題、中国や欧州の景気減速等の懸念はあるものの、ソフトウェアを含む設備投資は、全体では昨年来の勢いを継続する、と予測しています。お客様の業界や業種により差はありますが、「攻めのIT投資」を主眼としたデジタル変革や2020年開催の東京オリンピック、インバウンドへの対応などが下支えとなる、と予測しています。一方、需要の拡大に伴い、人材の不足感は依然否めず、継続的な人材の獲得・育成、生産性および品質の向上、開発体制の強化は、優先課題です。

来期の取組み

来期は『CRESCO Ambition 2020』の4年目として、『CRESCO Ambition 2020』に沿った経営「サービス品質の強化による質的成長」「リソースおよび技術戦略の強化による量的成長」「M&Aによる成長スピードの拡大」を経営方針に掲げ、5ヶ年ビジョンに沿った継続課題に、引き続き取組みます。

5ヶ年ビジョンに沿った継続課題

- 鉄板品質の提供
- 生産性の追求
- リソース戦略の強化
- 人材の採用と育成
- 新技術の研究・開発
- グループ連携の強化
- 営業体制およびお客様とのリレーションシップの強化
- 新規ビジネスの組成
- コーポレート・ガバナンスの推進
- 経営管理と働き方改革の推進
- ダイバーシティへの取組み

クレスコグループは、「デジタル変革」をリードして、お客様がビジネスモデルの革新を通じて成長を実感できる、現実的な提案をスピーディに行えるように、事業の柱であるソフトウェア開発事業、組込み型ソフトウェア開発事業において、技術および品質の面で更なる強化を図ります。併せて、先端技術を積極的に取込んで、お客様の成長に寄与するサービスやソリューションを充実させ、社会に貢献いたします。

売上高

352億30百万円



営業利益・営業利益率

32億7百万円



経常利益

36億58百万円



連結業績ハイライト

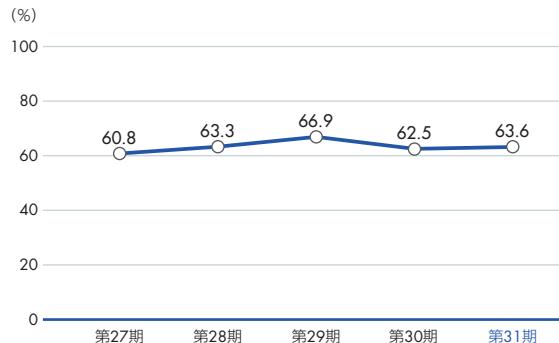
純利益 (親会社株主に帰属)

22億85百万円



自己資本比率

63.6%



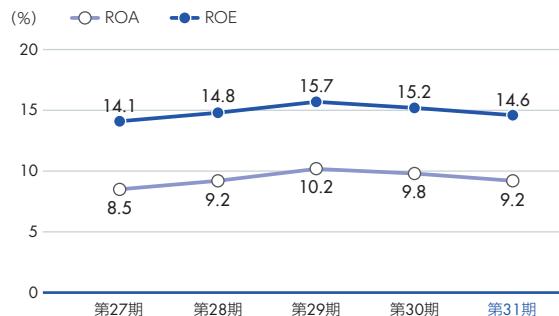
1株当たり純利益

208.92円



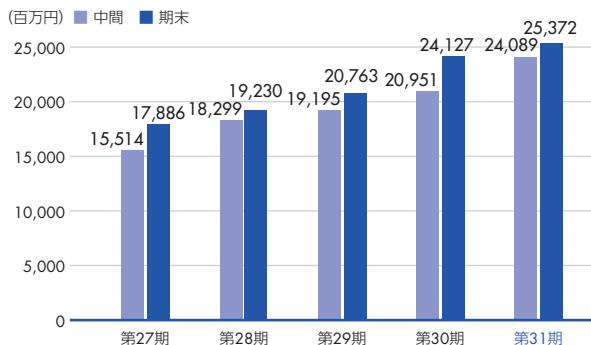
ROA & ROE

ROA 9.2%
ROE 14.6%



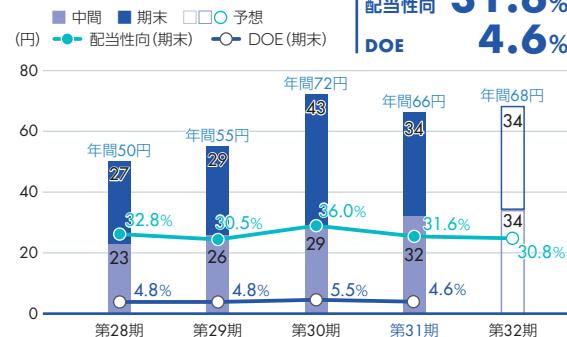
総資産

253億72百万円



1株配当金・配当性向・DOE

1株配当金 66円
配当性向 31.6%
DOE 4.6%



連結業績ハイライト

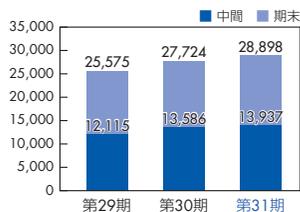
セグメント別概況

ソフトウェア開発

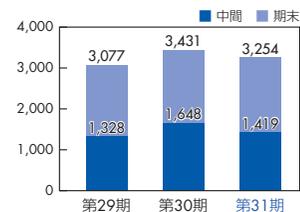
売上高 **288億98百万円**
利益 **32億54百万円**



売上高 (百万円)

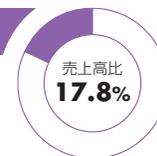


利益 (百万円)



組み込み型ソフトウェア開発

売上高 **62億85百万円**
利益 **11億46百万円**



売上高 (百万円)

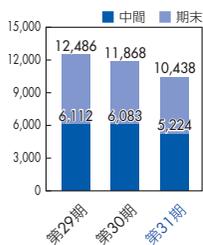


利益 (百万円)

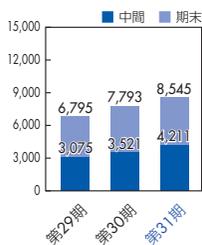


業種別売上高 (百万円)

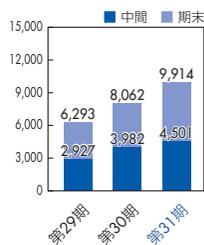
〈金融〉
銀行、保険、カード、証券 など



〈公共サービス〉
航空、鉄道、電力、放送、
医療、旅行、人材ビジネス など

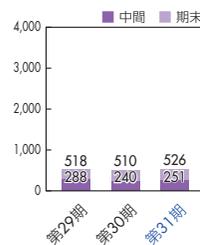


〈流通・その他〉
運輸、小売 など

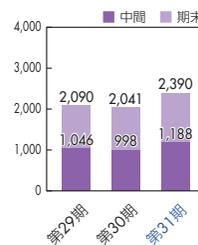


分野別売上高 (百万円)

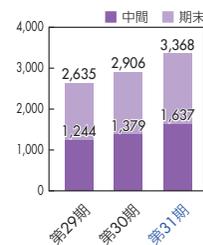
〈通信システム〉
携帯情報端末 など



〈カーエレクトロニクス〉
デジタルメーター、
センターディスプレイ など



〈情報家電等・その他〉
デジタル家電、医療機器、
制御システム など



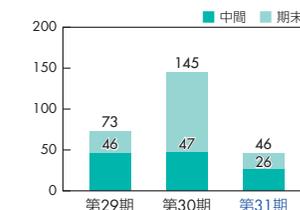
※「利益」は、セグメント利益のことです。セグメントに帰属しない全社費用等で営業利益と差額が発生します。

商品・製品販売

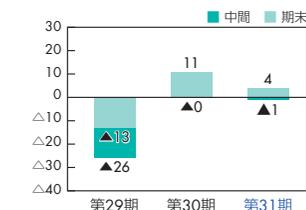
売上高 **46百万円**
利益 **4百万円**



売上高 (百万円)



利益 (百万円)



配当方針

(2019年3月31日現在)

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題と位置付けており、株主資本の充実と長期的な安定収益力を維持するとともに、業績に裏付けられた適正な利益配分を継続することを基本方針としております。配当に関しましては、原則当社(単体)の経常利益をもとに特別損益を零(ゼロ)とした場合に算出される当期純利益の40%相当を目的に、継続的に実現することを目指してまいります。

私たちはIT業界の「匠」です。



クレスコは、今まで「匠」として

アプリケーション開発技術、IT基盤システム構築技術、組込み技術

の3つの領域にわたるコア技術をビジネスの軸にしながら、

さまざまな仕組みづくりを手がけてまいりました。

特にITの基本部分を支えている

IT基盤システム構築技術や組込み技術においては、

創業以前とクレスコの創業年である1988年以降とを合わせると

40年近く。他社の追随を許さない技術の蓄積があります。

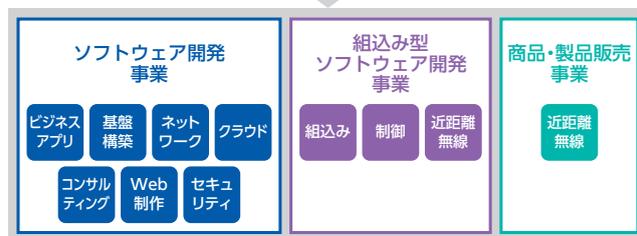
品質に対するこだわり。そして、現場尊重主義。

「匠」の精神で、お客様の信頼に応え、成長し続けてまいります。

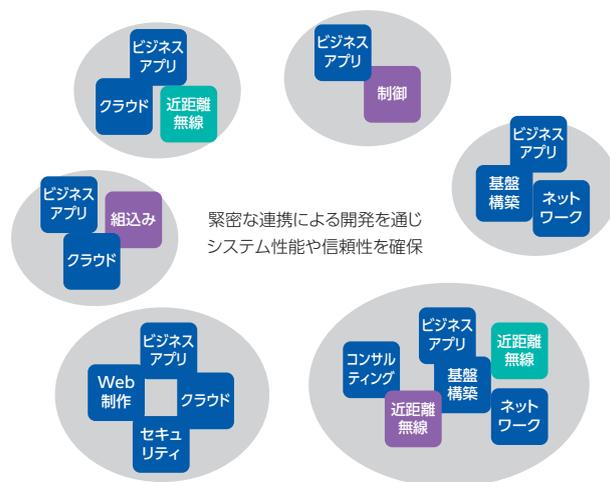
社名の由来

企業活動の成長が世界の人々の幸福に可能な限り最大の貢献をすること、そして、そこに働く人々が共に喜びと誇りをもち、自己の能力を最高に発揮できることが企業の使命であると考え、ラテン語で「成長する」という意味を持つ「CRESCO」を社名としております。

クレスコの強み①経験に支えられた3つのコア技術



クレスコの強み②コラボレーションによる事業の創造



Topics

人の持つ自由な意欲を生かすことができる会社を目指す

人事・給与・ワークフロー関連のパッケージソフトウェアの設計・開発を得意とする「アルス株式会社」が、2018年10月1日付けでクレスコグループに加わりました。「アルス」は、日本アイ・ビー・エム株式会社様の認定コアパートナーとして同社と連携しながら活動を進め、開発したパッケージソフトウェアは大企業・中堅企業の約200社に採用されています。会社創立31年間で一度も赤字を出すことなく成長しており、「人の持つ自由な意欲を生かすことができる会社」を目指しています。

※アルスのホームページ
<http://www.arsweb.co.jp/>



自社開発コンテンツを活用したセミナーの提供

2018年10月から当社は、デジタル変革を支援する人工知能やRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)などについて、活用事例やノウハウ等の効率的な学習を目的とするセミナーの提供を開始しました。当社は2016年4月にスタートした5ヶ年のビジョン『CRESCO Ambition 2020』のもと、先端技術の調査・研究や活用に取り組んでいます。当社に蓄積された知見の一部を、自社主催セミナーを通じて提供します。セミナーの開催スケジュールは、当社のホームページをご覧ください。

※セミナーの開催スケジュール
<https://www.cresco.co.jp/service/seminar/>

UiPath社の初期トレーニング・アソシエイトに認定

2018年10月に当社は、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)のリーディングカンパニーのUiPath社(本社 アメリカ)の日本法人であるUiPath株式会社様が新たに開始したパートナープログラムで、初期の「トレーニング・アソシエイト」に認定されました。

RPAは、日本では「働き方改革」を推進する企業や地方自治体などを中心に、急速に普及しています。UiPath製品の日本国内企業への販売および導入サポートを行うパートナーとして、現在43社が認定リセラー契約を結んでおり、日本国内500社以上に利用されています。「トレーニング・アソシエイト」は、製品の機能や技術を習熟し、トレーニングを提供できる協力会社を指し、20社が認定されています。

当社は、2018年7月に認定リセラー契約を結び、日本国内向け販売を開始しており、これまでの導入実績を活かした実践的なトレーニングを通じて、お客様の業務効率化推進に貢献します。

子会社「アイオス」の強化

2018年11月1日付けで子会社「アイオス」が、Web技術や組み込み技術によるソフトウェア開発を得意とする「イーテクノ株式会社」を完全子会社化しました。

「アイオス」の人材補強、事業領域の拡大を目的としています。

※アイオスのホームページ
<https://www.ios-net.co.jp/>



「福岡事業所」の開設

2019年4月1日付けで当社は福岡市博多区にある子会社「クレスコ九州」を統合し、「福岡事業所」を開設しました。「クレスコ九州」は地場企業のソフトウェア開発や、当社の金融向けソフトウェア開発事業のニアショア開発を行っていました。今回の統合は、事業の拡大・成長、人材の活用および企業グループ運営の効率化を図ることが目的です。

クレスコグループは、今後も経営資源の「選択と集中」を図り、さらなる成長にチャレンジします。

「働き方改革」への取組み

2019年4月から「働き方改革推進法」が順次施行されています。少子高齢化により労働力人口が減少して、働く人々の仕事や働き方に対する価値観が多様化している中で、「働き方改革推進法」により、さらに、長時間労働の是正や多様で柔軟な働き方の実現が求められます。

当社は、健康で高い満足度をもって働ける環境を醸成することが、社員の成長と定着を促進し、生産性向上や新たな価値創造に励むことで、お客様の成長に貢献できると考えています。

当社では「継続した業務改善活動」「労使協定に基づいた、時間外労働時間上限の遵守」「年5日の年次有給休暇取得の確実履行」「年8日の計画的休暇取得推進」「終業時刻と始業時刻までに10時間以上の休憩時間」「毎月第3水曜日は18時退社厳守のスーパー・リフレッシュデー」「その他水曜日は18時退社推奨のリフレッシュデー」の取組みを推進していきます。

2018年度における当社社員の、月間残業時間は平均11.4時間(前年度13.3時間)、年次有給休暇取得率は平均83.9%(前年度83.0%)です。

IRサイトが第三者機関のランキング調査で受賞

当社のIR(投資家情報)サイトが、第三者機関によるIRサイトのランキング調査で受賞しました。

- ①日興アイ・アール「2018年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング調査」の総合ランキングで、全上場企業3,785社中 31位で、「最優秀サイト」に選定。
- ②大和インバスター・リレーションズ「2018年インターネットIR表彰」で、全上場企業3,782社中 44位で、「優秀賞」を受賞。
- ③モーニングスター「Gomez IRサイト総合ランキング2018」で、調査対象上場企業3,626社中 56位で、「IRサイト優秀企業:銀賞」を受賞。

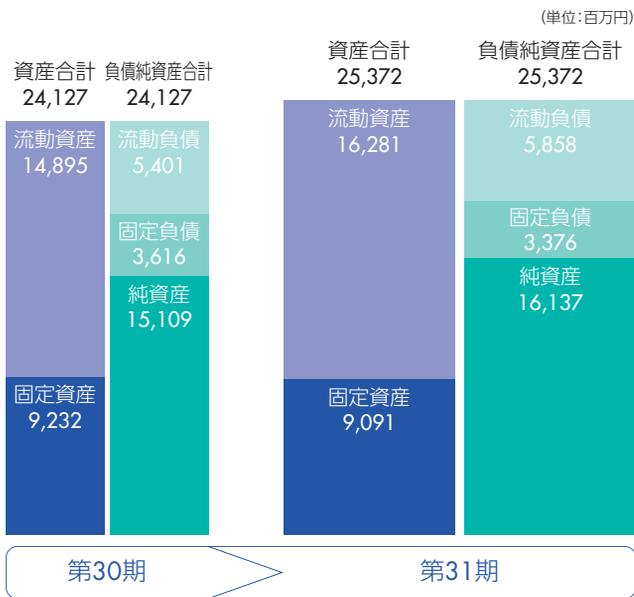
当社のIR活動は「株主や投資家のみなさまに、当社の企業経営、企業活動の内容を理解してもらうことによって、当社の価値を正當に評価していただくための活動である」と捉えております。当期は、IRサイトのリニューアルを行い、内容の充実、見易さの改善、スマートフォン対応、英語情報の充実を図りました。今後も、IRサイトをステークホルダーのみなさまとの重要なコミュニケーションツールの一つと考え、「充実した情報(経営戦略、業績等)」を「公平」「正確」「適時」にお伝えすることを基本姿勢に、迅速な情報の開示に努めてまいります。

※IRサイト

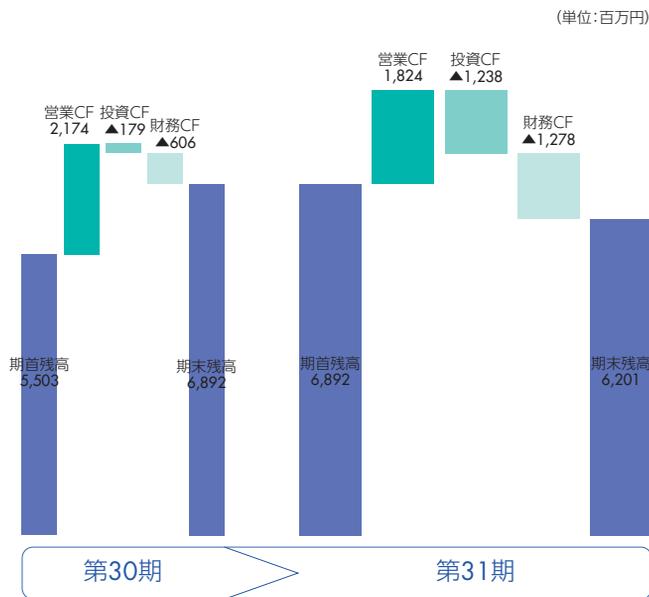
<https://www.cresco.co.jp/ir/>



貸借対照表の概要



キャッシュ・フロー計算書の概要



流動資産

13億85百万円
(前年度末比)

現金および預金が6億72百万円減少したものの、受取手形および売掛金が10億57百万円、有価証券が4億93百万円、未収入金が4億28百万円それぞれ増加したことにより、前連結会計年度末に比べて13億85百万円増加し、162億81百万円となりました。

固定資産

1億41百万円
(前年度末比)

ソフトウェアが4億30百万円、繰延税金資産が3億9百万円、のれんが2億48百万円それぞれ増加したものの、投資有価証券が11億6百万円減少したことにより、前連結会計年度末に比べて1億41百万円減少し、90億91百万円となりました。

流動負債

4億56百万円
(前年度末比)

短期借入金が91百万円、未払金が66百万円それぞれ減少したものの、固定資産取得未払金が2億36百万円、未払法人税等が1億54百万円、賞与引当金が1億38百万円、買掛金が1億21百万円それぞれ増加したことにより、前連結会計年度末に比べて4億56百万円増加し、58億58百万円となりました。

固定負債

2億40百万円
(前年度末比)

長期借入金が2億80百万円減少したことにより、前連結会計年度末に比べて2億40百万円減少し、33億76百万円となりました。

純資産合計

10億27百万円
(前年度末比)

その他有価証券評価差額金が4億19百万円減少したものの、利益剰余金が14億65百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べて10億27百万円増加し、161億37百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

法人税等の支払額が11億12百万円、売上債権の増加額が9億49百万円あったものの、税金等調整前当期純利益が33億86百万円、利息及び配当金の受取額が3億51百万円あったことにより、18億24百万円の収入(前年度21億74百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券の償還による収入が11億91百万円、有価証券の売却による収入が10億7百万円、有価証券の償還による収入が3億80百万円あったものの、有価証券の取得による支出が18億58百万円、投資有価証券の取得による支出が18億15百万円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が3億54百万円あったことにより、12億38百万円の支出(前年度1億79百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額が8億19百万円、長期借入金の返済による支出が3億56百万円あったことにより、12億78百万円の支出(前年度6億6百万円の支出)となりました。



ホームページのご案内

最新のIR情報や
決算関連資料を
掲載しております。
ご利用ください。



<https://www.cresco.co.jp/>

取締役



代表取締役 会長
岩崎 俊雄 Toshio Iwasaki
1940年11月30日生



代表取締役 社長執行役員
根元 浩幸 Hiroyuki Nemoto
1960年2月12日生



取締役 専務執行役員
事業部門、技術研究所 管掌
兼 事業統括本部長
山元 高司 Takashi Yamamoto
1960年10月11日生



取締役 常務執行役員
財務経理本部長
杉山 和男 Kazuo Sugiyama
1964年9月1日生



取締役 常務執行役員
管理部門 管掌
兼 経営管理本部長
富永 宏 Hiroshi Tominaga
1967年1月9日生



取締役(非常勤)
(株)クリエイティブジャパン 代表取締役社長
熊澤 修一 Shuuichi Kumazawa
1956年9月30日生



社外取締役
福井 順一 Jyunichi Fukui
1953年11月5日生

監査等委員



取締役 常勤監査等委員
丹羽 蔵王 Kuroa Niwa
1955年11月13日生



社外取締役 監査等委員
臼井 義真 Yoshimasa Usui
1949年2月11日生

執行役員



社外取締役 監査等委員
佐藤 治夫 Haruo Sato
1956年11月27日生



常務執行役員
業務推進本部長
菊池 淳 Atsushi Kikuchi
1960年2月2日生



常務執行役員
サービスコンピテンシー統括本部長
藤谷 栄樹 Masaki Fujiya
1959年10月23日生



執行役員
品質管理本部長
工藤 博徳 Hironori Kudou
1965年3月21日生



執行役員
事業統括本部副本部長
金融ビジネスユニット担当
久保 和隆 Kazutaka Kubo
1964年5月18日生



執行役員
事業統括本部副本部長
流通サービス・ビジネスユニット担当
下川 恭正 Yasumasa Shimokawa
1967年3月27日生



執行役員
事業統括本部副本部長
インダストリアル・ビジネスユニット担当
粉川 徳幸 Noriyuki Kogawa
1963年11月24日生



執行役員
事業統括本部副本部長
兼 技術研究所長
丸山 規行 Noriyuki Maruyama
1961年6月19日生



執行役員
グループ事業推進本部長
高石 哲 Satoshi Takaishi
1962年5月26日生

1 株式会社クレスコ 本社

2 札幌事業所 4 名古屋事業所 6 福岡事業所
3 長岡事業所 5 大阪事業所

事業内容

- ビジネスアプリ
- 基盤構築
- クラウド
- コンサルティング
- 組込み
- 近距離無線

連結子会社

7 クレスコイー・ソリューション株式会社

事業内容

- ビジネスアプリ
- クラウド
- コンサルティング

8 クレスコワイヤレス株式会社

事業内容

- 近距離無線
- 近距離無線

9 株式会社アイオス 本社

10 静岡営業所 APL開発センター

事業内容

- ビジネスアプリ
- 基盤構築

11 クレスコ北陸株式会社

事業内容

- ビジネスアプリ

12 株式会社シースリー

事業内容

- 制御
- 組込み

13 株式会社クリエイティブジャパン

事業内容

- 基盤構築
- ネットワーク
- セキュリティ
- ビジネスアプリ

14 株式会社メクセス 本社

15 東京支社

事業内容

- Web制作
- ビジネスアプリ
- 基盤構築
- コンサルティング

16 株式会社エヌシステム

事業内容

- ビジネスアプリ
- 基盤構築
- コンサルティング

17 株式会社ネクサス 本社

18 北海道支店

事業内容

- ビジネスアプリ
- 基盤構築
- コンサルティング

19 アルス株式会社

事業内容

- ビジネスアプリ
- コンサルティング

関連会社

20 株式会社ウェイン

事業内容

- ビジネスアプリ
- コンサルティング

21 ビュルガーコンサルティング株式会社

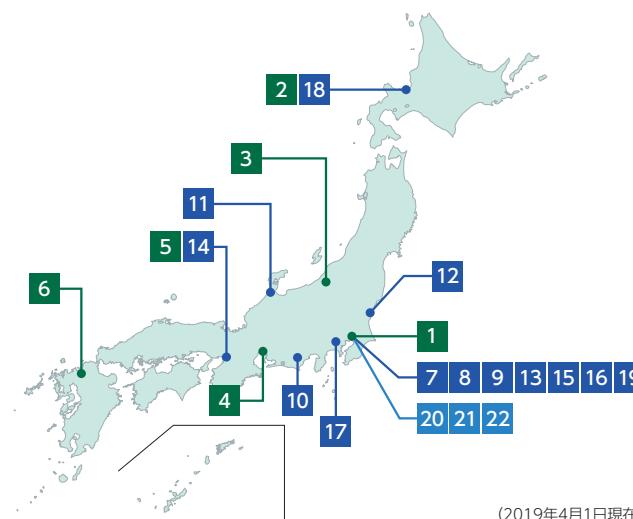
事業内容

- コンサルティング

22 株式会社イー・アイ・エム スタッフ

事業内容

- ビジネスアプリ
- 基盤構築



(2019年4月1日現在)

株式の状況

(2019年3月31日現在)

発行可能株式総数	34,000,000株
発行済株式の総数	10,940,088株
	(自己株式1,059,912株を除く)
株主数	2,857名

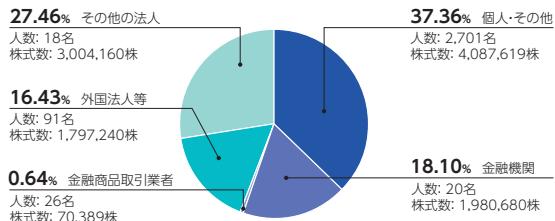
大株主

(2019年3月31日現在)

株主名	持株数(百株)	議決権比率(%)
有限会社イワサキコーポレーション	28,396	26.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,082	8.32
浦崎 雅博	6,277	5.75
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	5,680	5.20
クレスコ従業員持株会	4,033	3.69
佐藤 和弘	3,890	3.56
田島 裕之	3,488	3.19
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HCR00	3,429	3.14
岩崎 俊雄	3,052	2.79
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,996	2.74

所有者別株式分布状況(自社保有分を除く)

(2019年3月31日現在)



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	中間:9月30日 期末:3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 [TEL] ☎ 0120-232-711 (通話料無料) [送付先] 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	日本経済新聞に公告いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



会社概要

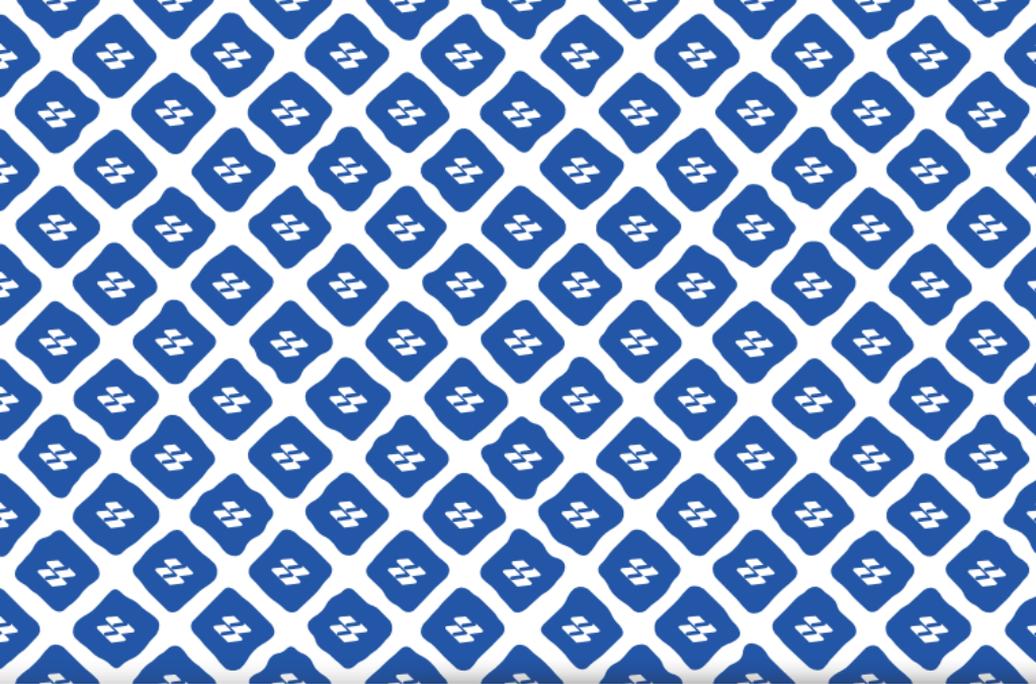
商号	株式会社クレスコ
設立	1988年4月
資本金	25億1,487万5,803円
従業員数	連結:2,229名(男性:1,754名 女性:475名) 単体:1,236名(男性:968名 女性:268名)
所在地	■ 本社 〒108-6026 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟 25階~27階 TEL: 03-5769-8011 FAX: 03-5769-8019
	■ 札幌事業所 〒060-0003 北海道札幌市中央区北3条西3-1 札幌北三条ビル 2階、11階 TEL: 011-200-5550 FAX: 011-200-5665
	■ 長岡事業所 〒940-0071 新潟県長岡市表町1-11-1 長岡フロントビル 4階 TEL: 0258-30-0370 FAX: 0258-33-1771
	■ 名古屋事業所 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅2-38-2 オーキッドビル 3階 TEL: 052-589-9045 FAX: 052-589-9025
	■ 大阪事業所 〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町4-2-12 東芝大阪ビル 2階 TEL: 080-7739-8918
	■ 福岡事業所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1-7-22 第14岡部ビル 7階 TEL: 092-415-3540 FAX: 092-415-3541
事業内容	情報処理システムに関する ■ コンサルティングおよびソリューションサービス業務 ■ 設計、開発業務 ■ 運用管理、保守業務 ■ 調査、分析、評価および技術支援業務

(2019年4月1日現在)

IRのお問合せ 広報IR推進室

Mail: ir@creSCO.co.jp
TEL: 03-5769-8058





東京証券取引所 市場第一部
証券コード 四六七四

